



*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。 R70259/70260/70281/70282
 *この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。 ①/⑤
 *この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。




デイトナ ステアリングダンパー専用 ブラケットセット	適応車種 モンキー/ゴリラ（'74～'08） FIモンキー（'09） フォーク径 34mm/31mm/30mm/27mm	商品NO. 70259/70260 70281/70282
---	--	--

■ご使用前に必ずご確認ください■

- ※ 取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。
- ※ 商品の保証については保証書裏面の保証規定に沿って行ってまいります。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書と一緒に保管してください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

-  **警告** 要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
-  **注意** 要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

 実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	 禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
 その他	その他の警告及び注意を告げるものです。		

警告

- デイトナ「ステアリングダンパー/Mサイズ（68541）」と組み合わせて使用してください。間違ったサイズのステアリングダンパーとの組み合わせは、重大な事故につながる原因になります。
- この商品を取り付けた後は、操縦性が変化します。ステアリング特性の変化に慣れるまでは、慎重な運転を心掛けてください。
- ハンドルを左右に切ったとき、ステアリングダンパーに指をはさまないように、クリアランスを開けて取り付けてください。
- ガソリンは燃えやすく爆発、火災の危険があります。ガソリントank・フューエルホースなどの脱着作業の際には、ガソリンがこぼれないよう細心の注意を払って作業してください。
- 走行中に異常が発生したと思われる場合は、直ちにバイクを安全な場所に停止し、異常箇所を点検してください。そのまま走行を続けると、重大な事故につながる恐れがあります。
- ハンドルを左右に切り返した際、ダンパー本体及びブラケット類がカウル・メーター・フレームなどに接触しないか確認してください。接触しているとハンドルがスムーズに切れず、重大な事故につながる恐れがあります。


その他

- ・ステアリングダンパーの調整（強さ）は、車体寸法、重量、タイヤ（ラジアル／バイアス）・ダンパーの取付位置・路面状況など、様々な条件によって異なります。むやみにダンパーを強く（ハード側）して走行することは全く意味がないばかりか、かえって危険性を高める結果になります。
- ・デイトナ「ステアリングダンパー」は、7段調整式です。通常の公道走行では弱い（ソフト側）方から2段目くらいを目安に調整してください。ダンパーをあまり強く（ハード側）すると、走行中とっさの事態に危険回避できない恐れがあります。また、オートバイの持っている自動操舵機能が損なわれ、最悪の場合、転倒する危険性があります。
- ・ダンパーを装着した後は、十分な注意を払いながら安全な場所でテスト走行を行い、お客様のオートバイや走り方に合った調整をしてください。調整が強すぎることをないようにしてください。
- ・走行前には、必ずダンパー本体の調整ノブ位置を確かめ、ハンドルを左右に切り返して、ダンパーの調整が適切であることを確認してください。いたずらなどで、調整が7段（最強）にされた状態を知らずに急発進し、転倒事故につながるといったケースが増えています。



禁止

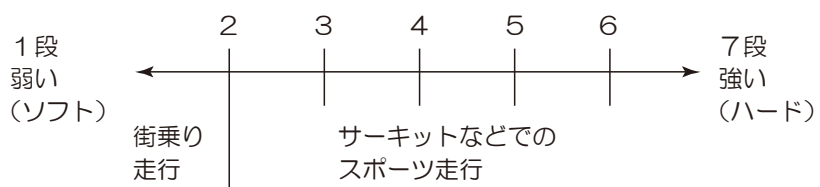
- ・転倒などでロッド部が曲がったり、傷ついたり、ダンパー本体が変形したものは絶対に使用しないでください。ハンドルがスムーズに切れず、重大な事故につながる恐れがあります。
- ・ダンパーの調整ノブは、走行中に操作しないでください。走行中に操作すると、前方不注意による追突事故や片手運転による転倒事故等が発生する恐れがあり、大変危険です。必ずオートバイを停止してから調整してください。

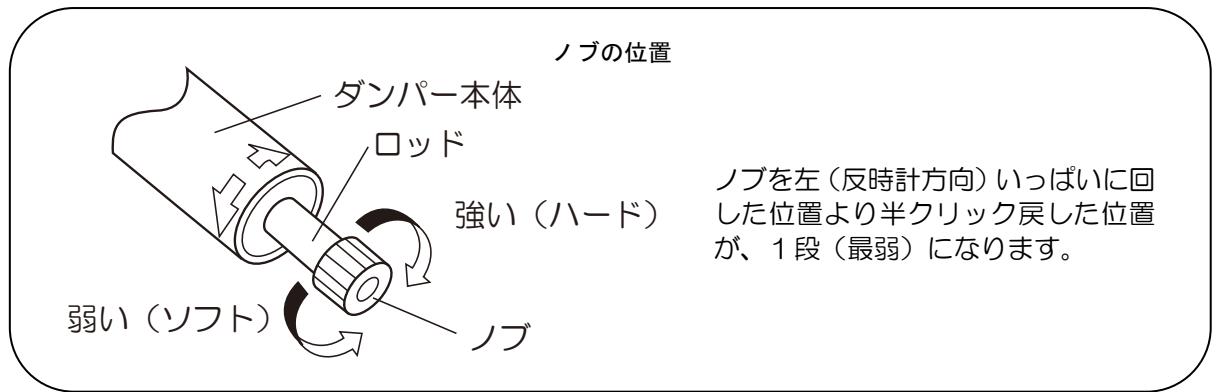
⚠️注意

- ・取り付けは確実に行ってください。走行中にネジ部などが緩まないようにトルクレンチを使い、規定トルクで確実に締め付けてください。
- ・取り付けの際は、ガソリントankなどにキズがつかないように、注意して作業してください。
- ・取り付けたボルト・ナット・スクリューは、取り付け後約100km走行後に再度規定のトルクで増し締めを行ってください。以後は約500km毎に点検を行い、緩んだボルトなどの増し締めを同様に行ってください。
- ・アンダーブラケットにある純正ハンドルストッパーまで、ハンドルが左右に切れる状態でステアリングダンパーを取り付けてください。ハンドルが純正ハンドルストッパーまで切れる前に、ステアリングダンパーのストロークがいっぱいになってしまうと、ダンパー本体が壊れる恐れがあります。
- ・ダンパー本体の分解や加工は絶対にしないでください。作動不良やオイル漏れの原因になります。
- ・旧タイプのラウンドステアリングダンパーボディ、または他社製ステアリングダンパーをこの商品に取り付けることはできません。
- ・調整ノブを、プライヤなどで無理に回さないでください。作動不良やオイル漏れの原因になります。



実施



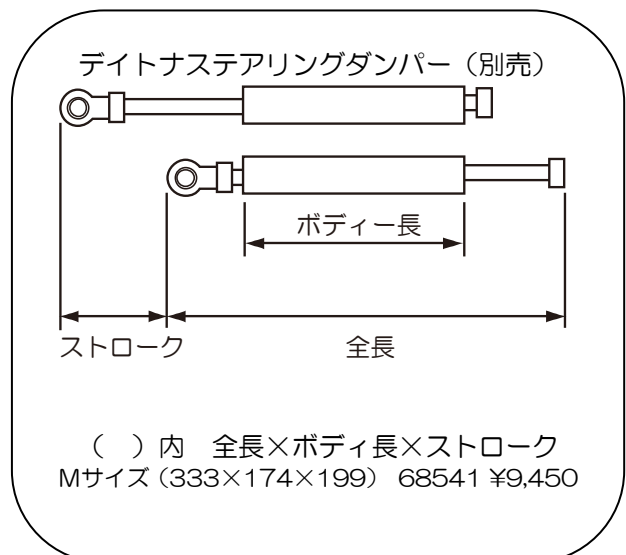
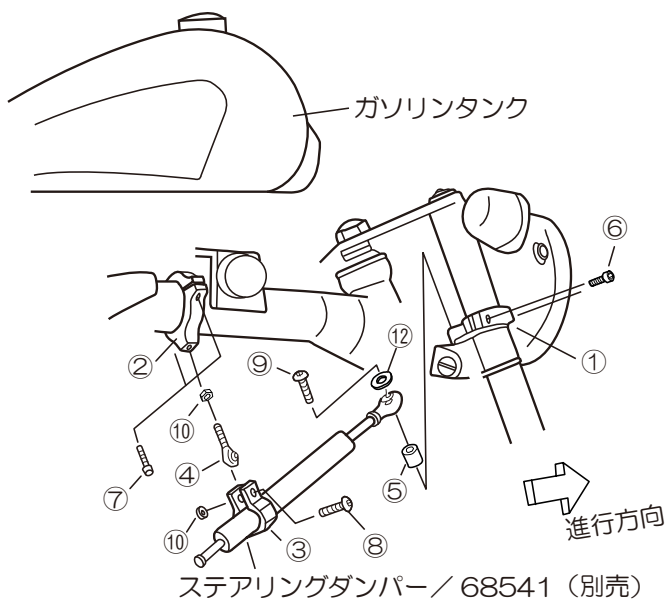


本商品の特徴

- 別売のデイトナ「ステアリングダンパー／Mサイズ (68541)」と組み合わせることにより、ハンドルストッパーを使用せずに取り付けができます。
- 軽量アルミ製ブラケット。
- 公道使用OK。
- モンキー (Z50J1)、'09 モンキー (F1モデル) は、オイルクーラーキット (63520/64172) との同時装着不可。

商品内容

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	フロントフォーク ブラケット		1	⑦	六角穴付ボルト	M6×25	2
②	フレームブラケット		1	⑧	六角穴付ボタンボルト	M8×30	1
③	ボディランプ		1	⑨	六角穴付ボタンボルト	M8×35	1
④	ピロボール	M8	1	⑩	六角ナット	M8	2
⑤	スペーサー	Φ14×Φ8.2×70	1	⑪	平ワッシャ	M8	1
⑥	六角穴付ボルト	M6×20	2				



取付方法

1. ステアリングダンパー（Mサイズ）のノブを左（反時計方向）いっぱいにし、ダンパーを1段（最弱）にします。
2. シート・ガソリントankを取り外します。

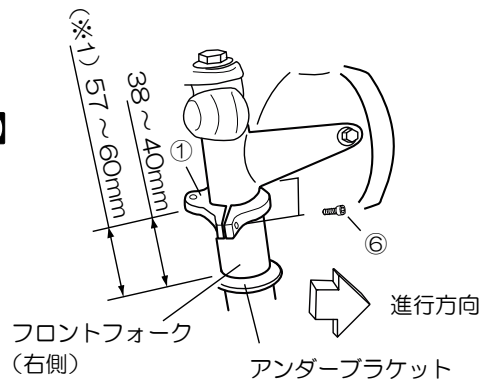
【1.フロントフォークブラケットの仮止め】

1. フロントフォークブラケット①を、六角穴付ボルト⑥（M6×25／2本）を使用して、フロントフォーク（右側）に仮止めします。

※右側に取り付ける車両の場合、ホーンを移動するか、ステアを内側に曲げる必要があります。

※'09 モンキー（インジェクションモデル）はフロントフォーク（左側）に仮止めします。

※4LモンキーのFフォークがI型の場合、ウインカーに接触するため取り付けできません。



※1：デイトナ製、Φ31 フォークキット（24301/ 65996）
オイルクーラーキット（63520/64172）を
同時装着した場合

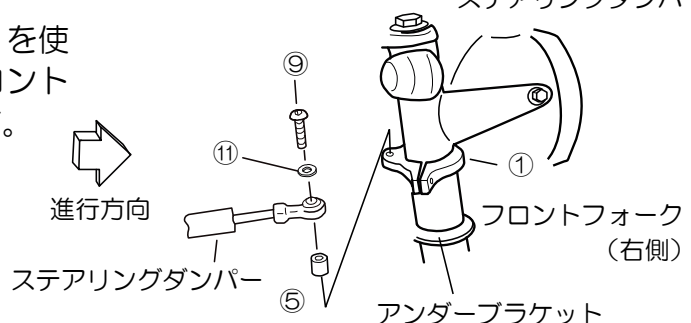
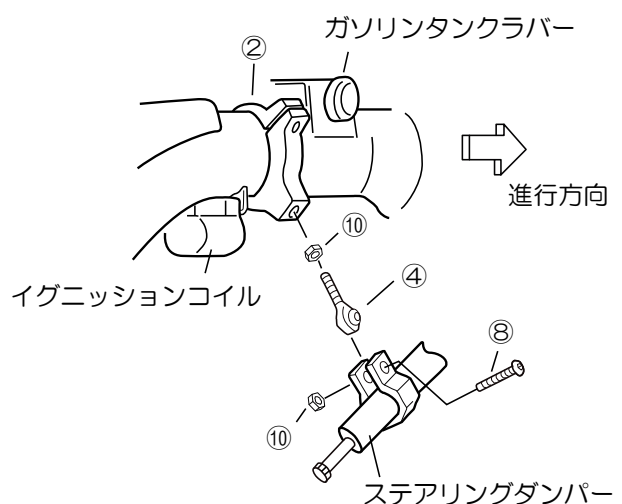
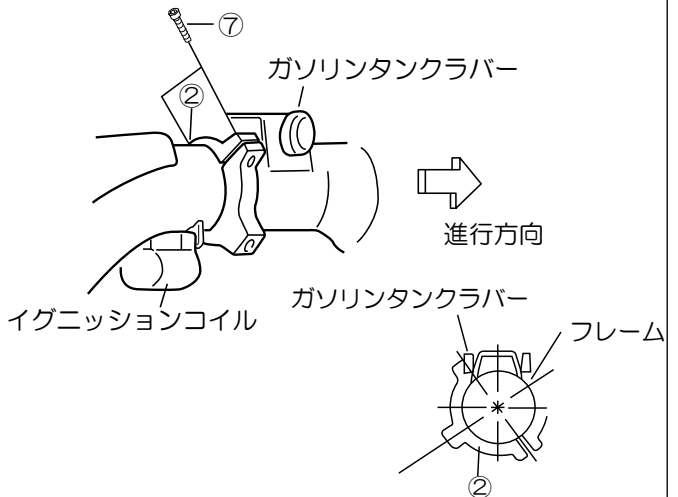
【2.フレームブラケットの仮止め】

1. フレームブラケット②を、六角穴付ボルト⑦（M6×25／2本）を使用して、車体右側フレームに仮止めします。

※'09 モンキー（インジェクションモデル）は車体左側フレームに取り付けます。フレームブラケットが、エアクリーナーカバーに接触した場合、カバーの切削加工が必要になります。

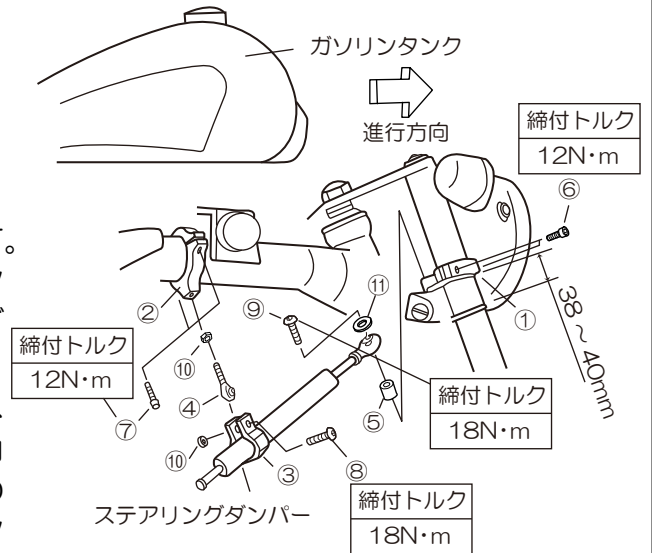
【3.ステアリングダンパーの仮止め】

1. ボディランプ③から、六角ナット⑩（M8）、六角穴付ボタンボルト⑧（M8×30）、ピロボール④（M8）を取り外します。
2. ステアリングダンパーを傷つけないように注意しながら、ボディランプ③に差し込みます。
3. フレームブラケット②に、ピロボール④（M8）を仮止めします。
4. 六角穴付ボタンボルト⑧（M8×30）と六角ナット⑩（M8）を使用して、ボディランプ③をピロボール④（M8）に仮止めします。
5. 六角穴付ボタンボルト⑨（M8×35）を使用して、ステアリングダンパーをフロントフォークブラケット①に取り付けます。



【4.各部の位置決め】

1. 六角穴付ボルト⑥ (M6×20) を少し緩め、フロントフォークブラケット①が軽く動くようにします。
2. ガソリントankをフレームに仮止めします。
3. アンダーブラケットの純正ハンドルストッパーまで、ハンドルを右いっぱいに切ります。
4. ステアリングダンパーがフレーム、ガソリントankなどに接触しない位置に、フレームブラケット②を仮止めします。
5. ダンパーボディ部を進行方向に動かし、古ストロークから1~2mm戻した位置で、六角穴付ボルト⑧ (M8×30) を軽く締め付け、ステアリングダンパーをボディクランプ③に仮止めします。
6. アンダーブラケットの純正ハンドルストッパーまで、ハンドルを左いっぱいに切ります。

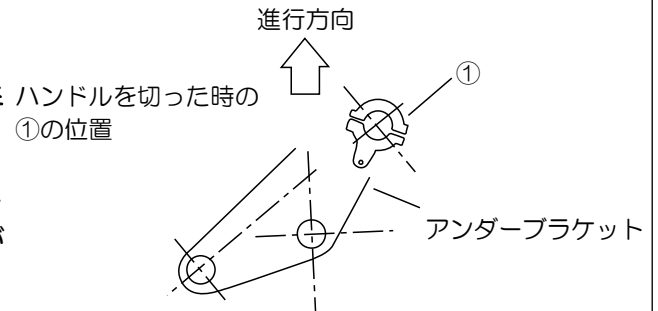


※1：デイトナ製、Φ31 フォークキット (24301 / 65996)、オイルクーラーキット (63520 / 64172) を同時装着した場合

要点

●左いっぱいまで切れない場合は、手順1~5までを繰り返してください。

7. 左右にハンドルを切り、アンダーブラケットの純正ハンドルストッパーまでハンドルが切れることを確認します。



⚠注意

- アンダーブラケットにある純正ハンドルストッパーまでハンドルが切れる前に、ステアリングダンパーのストロークがいっぱいになると、ステアリングダンパーが壊れる恐れがあります。
 - 純正ハンドルストッパーまでハンドルが切れないと、ハンドルロック (施錠装置) を使用できなくなります。
8. ガソリントankを取り外します。
 9. 各部のボルト・ナットをトルクレンチを使用し、規定のトルクで締め付けます。
 10. ガソリントankとシートを元通りに取り付け、各部に異常がないことを確認して作業は完了です。

⚠警告

- ステアリングダンパー取り付け後のテスト走行は、ダンパーを最弱にして、安全な場所で行ってください。

株式会社 **デイトナ**

〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮 4805

URL: <http://www.daytona-mc.jp>

E-mail: info@daytona.co.jp

©デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」

0120-60-4955 まで